

今号は、内容の都合で紙媒体でも配付させていただきます。

家庭数配付

中里小学校 学校だより

おおくす

令和6年7月5日

第5号

文責 大石泰文

学校教育目標：夢をもち、みんなと共に生きる子どもの育成～中里仲よし(共に学び、共に育つ)～

安心メールの 全家庭登録 をお願い致します!

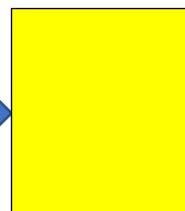
最近「大雨に伴う安全確保について」というお願いや「本日の下校について」というお知らせなどを安心メールで配信させていただきました。昨今の天気急変から子どもたちの命を守る最善の対応をするためには、全家庭への確実な連絡体制を今すぐ整える必要がある、と痛感しているところです。緊急時には、プリントを印刷して配付したり、多くの方に電話をかけたりする時間も人手も足りないのが今の学校の現状です。

異常気象に加えて、これから台風の季節を迎えます。緊急連絡も増えることでしょう。安心メールに登録していただくと、瞬時に学校からの連絡を受け取ることができます。「学校ホームページ」や「まなびポケット」は、その安心メール配信後の伝達手段としています。

ぜひ、未登録のご家庭は、この機会に安心メールにご登録ください。また、ご家庭で何台でも登録が出来ますので家族皆様でご活用ください。

登録方法は簡単です。に空メールを送信します。
登録フォームが返信されますので必要事項をご入力ください。

QRコード



ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

学校支援会議より

6月26日(水)に学校支援会議を開催しました。学校の方からは、創立150周年事業やあいさつ名人、ふわふわ言葉集めなどの全校の取組について説明をさせていただきました。

また、昨年度の学校評価で浮き彫りとなった子どもたちの苦手なところである「あいさつ」「ねばり強さ」につきましては、全教育活動を通して地道に取り組んでいることもお伝えしました。



さて、今回は「登下校の安全」や「校外での遊び方」が話題の中心となりました。特に、登校中は交通指導員の方や地域・保護者の皆様に見守られていますが、下校中は大人の目が行き届いていないのでは、というご意見をいただきました。確かに朝の登校時は各所に大人が立ち、安全を確保していますが、下校時は、子どもたちに任せられています。「子どもが急にとび出してきて危ない。」「白線をはみ出して横並びで帰っている。」そんな

裏面があります。

お電話をいただくのは下校後です。

子どもたちの下校時刻は、ほぼ決まっています。そこで、支援会議の中で提案されたことが、下校時のゆるやかな見守りです。何時に誰がどこに集まって見守る、というはおそらく難しいことです。

提案されたのは

地域の皆様に子どもたちの下校時刻を知らせ、庭先に出るだけでもいいし買い物でもいいし犬の散歩でもいいし「何かのついでに」下校時の子どもたちを意識して見ていただくこと。

当番制ではなく、ゆるやかに見守るという大変良いアイデアをいただきました。確かに、中里小の近くには、朝、庭先に出て子どもたちに挨拶して下さるご家庭が何軒かあります。同じように、可能な範囲で子どもたちを見守っていただけたらと思います。

ちなみに、来週から終業式(7/23 11:45 全学年下校完了)までは以下の時短日課になります。

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
下校時刻	1~3年 4校時	1~2年 4校時	1~6年 4校時	1~2年 4校時	1~2年 4校時
	14:20頃下校	14:20頃下校	14:00頃下校	14:00頃下校	14:20頃下校
	4~6年 5校時	3~6年 5校時		3~6年 5校時	3~6年 5校時
	15:05頃下校	15:05頃下校		14:45頃下校	15:05頃下校

地域・保護者の皆様、可能な範囲で子どもたちの下校の様子を見守りください。どうぞよろしくお願い致します。

広げ 深める 「ICT の利活用」

本校の特色は「特別支援学校との交流」「ICT の利活用」です。先日、その ICT を利活用した授業を5年生が行いました。教科は国語科、単元は「俳句作り」です。

まず、前時まで、思考ツールを活かして俳句を作っていました。その作成した俳句に友達から「より良くするためのアドバイス」をもらったり自分から友達にアドバイスをしたりする時間です。個別最適な学びと協働的な学びが一体化する場面で効果的にタブレットが活用されていました。

大変ユニークだったのが、子どもたち自身が自分で目標を設定し、そこに向かって取り組み、終末に振り返りをしていたことです。

本年度の校内研究では、自分で学び方を調整する個別最適な学びに重点を置き、「やらされている」のではなく「進んで学ぶ」意欲を特に大切にしています。「宿題」にもその考えを取り入れようとしています。

子どもたちに目標設定させるのは、意欲を高めるためなのですが、これがとても効果的に働いているように感じました。

2学期以降、各学年で研究が深まっていくことが楽しみです。

